

なのhana だよ!

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **87**
April 2017



老人ケアセンター浅井「力士と餅つき」

INDEX

1
2

トレンドTOPIX 潮流
ちよつりゅう

3 割負担、年収340万円以上
介護保険利用者12万人が対象

フォーカス「老健ちば」
管理者研修会報告

3
4

〈特集〉

松戸市立福祉医療センター

介護老人保健施設 梨香苑

「帰るためにがんばる!!」
在宅生活へ向けた
多職種での関わり〜」について

5
6

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ



春の気配

介護老人保健施設 睦沢の里

事務長 田上 誠一

7

〈なのhanaスマイル〜施設の笑顔紹介〉

●つらら

●エスポワール松戸

〈老健ちばカレンダー〉
〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

平成29年4月18日 発行

●発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

ニュースウォッチ

3割負担、年収340万円以上 介護保険利用者12万人が対象

厚生労働省は1月19日、全国厚生労働関係部局長会議を開催し、介護保険の自己負担を3割に引き上げる基準を、年収340万円（年金収入のみの場合）は344万円以上とする考えを示した。

厚生労働省は、
介護保険の自己負担を3割に
引き上げる基準を、
年収340万円以上とする
考えを示した。

当初は、「現役並み所得相当」として、世帯内に課税所得145万円以上の第1号被保険者がいる場合で、世帯内の第1号被保険者の収入の合計が520万円（1人のみの場合は383万円）以上の案を示していた。しかし、この場合だと、妻の年金収入がたとえ280万円未満であっても、世帯収入が520万円を超えると、夫婦ともに3割負担となってしまうため、法案にする段階で、「世帯」でなく「個人」に適用する考えに改め、基準も340万円以上のラインに見直した。

厚生労働省の説明では、同基準の場合、3割負担になるのは介護保険利用者のうち、およそ12万人（全体の約3%）。これ

による財政効果は給付費ベースで100億円程度が見込まれる。具体的な基準は、法案成立後に政令で定める。18年8月からの施行を目指す。

前回の15年改正では、合計所得金額160万円（年金収入のみは280万円）以上の利用者の2割負担を導入。16年2月実績で在宅サービス利用者の9.7%が該当している。

介護給付費実態調査の平均費用額をみると、施設サービスに関しては利用負担を2割とした場合、特養の要介護1を除くすべての場合で高額介護サービス費の上限（44,400円とした場合）に達するため、3割負担への影響は少ないとみられる。これについて、委員からは「3割負担を導入すれば在宅利用者のさらなる負担増を招き、施設へシフトしてしまうのではないか」と懸念を示す声や、一方で「これだと十分な財政効果が得られない。

自己負担化や給付のあり方なども検討すべきだ」とさらなる負担増、給付適正化を求める意見もあがった。

国会に上程される法案の名称は「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案（地域包括ケアシステム強化法案）」となっている。

◆介護保険の利用者負担割合(案)

基準	負担割合	対象者数
年金収入 340万円以上	3割	12万人
年金収入 280万円以上	2割	33万人
年金収入 280万円未満	1割	451万人

フォーカス 老健 ちば

管理者研修会報告

平成29年1月23日(月)ホテルポートプラザちばにて、36施設42名が参加され平成28年度管理者研修会が開催されました。

今回は、4名の講師の方々をお招きし、貴重な講義を受けることができました。

【講義1】「千葉県の地域包括ケアの計画(2017)」

講師：千葉県健康福祉部保健医療整備課長 高岡志帆氏



2018年の同時改正を踏まえ、最近の医療行政の動向が説明されました。「在宅医療等」で対応する患者の大幅な増加が見込まれ、介護老人保健施設の役割への期待はさらに高まっているとのことでした。

【講義2】「ES(従業員満足度)をいかにしたかめるか」離職率の低い施設を分析して」

講師：公益社団法人全国老人保健施設協会人材対策特別委員会委員 山野雅弘氏

現在どの施設も最重要課題である職員確保に関して、いかに従業員満足度を高め、離職率を抑えるか、褒めて育てる「褒め育」。また、全老健HPに掲載中の「老健施設の介護のやりがいと魅力」という動画の活用等、とても参考になりました。

【講義3】「地域コミュニティにおける医療と介護」

講師：金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学教授 中村裕之氏

心の柔軟性を育むための「健康生成論」ストレス対処能力を高める(SOCを高める)という概念を学び自分自身にも当てはめて考えることがで

きました。

【講義4】「診療報酬・介護報酬同時改訂を見据えた老健経営の健全化を図る」～全老健の現状報告をかねて～

講師：公益社団法人全国老人保健施設協会副会長 折茂賢二郎氏

R4システムに搭載されているICFステージングの概要と有用性が説明されました。ICFステージングとは、『できること』ではなく、『していること』の評価が原則で、観察に基づいて評価できる項目が多くより客観性が高い評価手法モデルです。つまりICFステージングで評価することで「保護型介護」「障害穴埋め型介護」から脱却し、「自立支援型介護」「能力サポート型介護」という視点により、「ケアの標準化」を図るというものです。

老健からエビデンスを積み重ね、エビデンスで語ることにより、医療との対等な議論ができ、また介護の質を問うことが可能となる。今後は、地域包括ケアのハブとしての老健、つまり地域における頼れる存在を目指していくべきというお話は大変有意義でした。

講義の後は、講師の方を交えた情報交換会が行われ、他施設との親睦を深めることができました。



松戸市立福祉医療センター

介護老人保健施設 梨香苑

「帰るために がんばる!!
～在宅生活へ向けた多職種での関わり～」について



施設の特徴

平成28年度研究事例発表大会において見事、最優秀賞に輝いたのは、梨香苑の「帰るためにがんばる!!」在宅生活へ向けた多職種での関わり」でした。今回、広報委員は、松戸市にある梨香苑に伺い、介護福祉士の都丸様と石井様に受賞を果たした取り組みについて取材させていただきました。

取材によって、梨香苑では施設内の多職種の連携はもとより、地域との連携も実現できており、またその連携が日常的になされていることがわかりました。多くの老健にとって興味深い、連携の実態と意義をご紹介します。

松戸市立福祉医療センター東松戸病院の2階にある梨香苑。建物の周りは自然に囲まれており、春には桜、秋には銀杏や紅葉を眺めることができます。創立が平成5年と、千葉県の中でも歴史のある施設といえます。入所者数は定員50名（内、短期療養介護は空きベッドを利用）、平均入所利用率90.4%（短期入所療養介護を含む）。常勤職員は看護職員7名、介護職員7名。非常勤職員は看護合計13名、平均在宅復帰率は約50%。入所者の平均介護度は3.31度。看取りケアの方は平均2〜3名程度。また通所リハの利用者が約5名おり、担当の常勤職員が兼務をしています。

研究発表について

研究発表では、統合失調症の方の入所から在宅復帰までの支援体制と協働の様子について紹介。具体的には、褥瘡治療、排泄自立、服薬自立を取り上げていました。

褥瘡治療については、入院中からアセスメントツールを使用し、入所後は介護職員も加わって評価を続けたとのこと。排尿の自立については、本人の意思を尊重しつつ理学療法士の歩行訓練と並行してカテーテル抜去へ移行できたことを紹介。服薬の自立では、在宅復帰後の服薬管理について相談員やケアマネージャーが在宅調整を図り、訪問看護サービス等の利用へとつなげたことが報告されました。

施設内では機能的自立度評価表FIMを使用し多職種による定期的な評価を行っており、この例では126点満点のうち入所時に44点だったものが退所時には103点と大幅にアップしたとのことでした。



発表テーマを決めた動機

最近の老健の課題として「在宅復帰支援」や「多職種協業・チームケアでの支援」が挙げられることが多く、発表のテーマにしたいと考えたとのこと。併設の病院から梨香苑に入所する



方は全入所者の半数以上を占めますが、施設に移動することによってADLやQOLが向上した例が多くあったそうです。今回の研究では、病院や老健の職員がどのように連携・協働して入所者を支援しているのかを、統合失調症のある方の在宅復帰を例に明らかにしようと考えたとのことでした。

連携について

この研究発表の内容を踏まえ、今回の取材では特に職員間での連携の実現について関連した質問をさせて頂きました。

質問①：職員定着率はどれくらいですか？

回答「常勤職員に入替りはほとんどありません。（職員定着の良さが伺えます 広報委員談）

質問②：施設内でベストチームワーク賞という賞があるそうですが？

回答「福祉医療センターで昨年設けたコンテストで、利用者様、ご家族様、職員に1人1票ずつ投票してもらい、ベストチームワーク部門で沢山の票を頂きました」

質問③：病棟と老健の間で入所者が移動する際、どのように情報共有を行っていますか？

回答「同じ建物内であり、相談員やケアマネ・病棟MSWが病棟と施設を行き来し行っています。」



地域との連携

研究発表にあった施設・病院内での連携のほか、地域との連携も図っているのが梨香苑の特長です。地域のボランティアグループの協力を得て、1日に数人のボランティアが来苑。また月に1〜2回ボランティア主催の行事をしたり、苑主催の毎月の行事でもボランティアの方々の協力のもと、計画・実行したりしています。このような活動が評価され、平成18年には松戸市長よりボランティアグループ10年継続の功労賞表彰を受けました。



梨香苑

〒270-2222 松戸市高塚新田123-13
TEL.047-391-5500 FAX.047-391-5599



今回、ハード・ソフト両面から施設内の連携の様子を取材させて頂いて、病院併設の老健である梨香苑においては「連携」は日常であり、すべての職員に自然に身に付いている体制であることが伺えました。またこの連携によって、少ない職員数でも無駄のない業務を実現できていると感じました。このことは施設の運営にとって大きな強みであり、素晴らしい特長となっていると思えました。

また、職員の定着率の良さや業務内容が安定していることが、職員のそれぞれが純粋に入所者のケアに集中できる環境を形成していると感じました。

この度、取材を快くお受け頂いた施設長、職員の方々へ心より感謝申し上げます。

施設紹介 希望施設 大募集!

他施設にぜひ知ってもらいたい(自慢したい)活動や運動等をご紹介ください。自薦、他薦を問いません。(広報委員が取材に伺う場合もあります)

- ・全老健協会の「ポジティブキャンペーン」をきっかけにした活動や運動。
- ・他職種との連携を目指して行う施設内外での活動。
- ・職員のモチベーションを上げる為の活動。
- ・職員と利用者様が行っている施設内の活動、その効果など。

例

●お問い合わせは事務局まで
TEL.043-259-8435 FAX.043-259-8436



研・修・会・報・告

コミュニケーション研修会



研修委員
ほうゆうの杜
村島 淳

平成29年2月28日、千葉市生涯学習センター大研修室において、「コミュニケーション研修会」が行われました。講師として横須賀から社会福祉法人興寿会教育実践研修センター所長代理尾渡順子氏を招き、24施設32名が参加し熱気あふれる研修となりました。

参加者の9割以上が介護職であり、常日頃利用者様相手にコミュニケーションで行き詰ることも多く、関心が非常に高いことを伺わせました。受講生は熱心に聴き、グループワークでも大いに盛り上がり、活気あふれる討論が行われました。

研修では話し上手は聴き上手として、まずは相手に心を傾けて聴くことの大切さから尾渡氏の話は始まりました。相槌を打つ、相手の話を繰り返し確認する、プラスのストロークを使うことが相手の気持ちに沿い、印象に残るのです。

最後にグループワークを行いました。そこでは「未来の介護職員へ、私がおし

認知症になったらこのように接してください。」というタイトルで話し合いました。各グループからの発表で「私を、あなた（未来の介護職員）が一番愛している家族を介護するように接して欲しい」という発表がありました。コミュニケーションは単なる表面的なテクニックではなく、心のもち様次第なのだという、本研修のエッセンスを先の言葉は見事に表しているとして、会場からも共感の声が上がりました。

今回の研修はコミュニケーションの著作もある尾渡氏の話聴き、利用者のみならず、同僚との関係づくりにも活かしていけるような実践的な研修となりました。



支援相談員研修会



平成28年度
支援相談員部長
メディケアーやまゆり
佐藤 幸子

平成29年2月22日支援相談員研修会が開催され、50施設から57名の参加がありました。

今回の研修会では、袖ヶ浦さつき台病院、回復期リハビリ病棟医師 竹内正人氏に講師をお願いし、「回復期医療リハビリから介護老人保健施設での介護リハビリへの連携及び在宅復帰に向けての取り組みについて」をテーマに講義していただきました。

老健への入所例として、回復期リハビリ病院から、入所される例も少なくありません。回復期リハビリ病棟医師の竹内先生から、直接お話しを伺えた事は大変勉強になりました。

医療機関から施設への入所、施設から在宅への復帰が、利用者・家族にとって生活全てに関わってくる事で、インテーク面接時に本人・家族の真の思いを引き出すことが、今後の在宅支援へ繋げる重要なポイントとなっていくと感じました。

支援相談員の皆さん、それぞれ経験年数も違うと思いますが、入所相談インテーク面接において、今回学んだ事を活かしていただければと思います。
私自身も、先生の講義で学んだことを、今後活かせるよう、頑張ります。



春の気配

睦沢の里
事務長 田上誠一

浦安市の自宅から施設の睦沢の里まで通うのに、ラジオを聴きながら蘇我までは有料道路、蘇我から施設までは茂原街道を通り、その最高地点あたりから山道に抜け、片道75kmで1時間40分程度の通勤。

3月に入ってから次第に早朝の明るさが増してきたというものの、コンクリートで造られた有料道路の側面は勿論、一般道でも彩りがなく、目に映る路傍の景色は土の色と去年の名残の枯草ばかりだと思っ走っていた。

3月13日のこと、施設の近くで菜の花が咲いているのに気が付き、そういえば先日のテレビでも菜の花が咲き誇っているという話題があったことを思い出して、人は視界に入っても必要としない情報は容易に記憶の外へ捨て去っているのだと思ひ知る。尤も自動車を運転するのに、多様な視覚・聴覚情報を逐一認識していたので

は、注意力が散漫になって安全運転に支障をきたすのだろうか。

翌日から改めて通勤途中の景色を眺めると、有料道路でも排ガスのせいがか色がくすんでいるとはいえ、木は花をつけ、一般道ではあちこちに菜の花以外にも小さな花が咲いているのを見つけた。

そして3月17日、わずか4日前に撮影した同じ場所では菜の花の合間に小さな白い2種類の花が顔を出してきた。道端の雑草も勢いを得て緑を増してきた。これから春分の日を過ぎていよいよ本格的な春、草木は己が命を主張して色とりどりの花を咲かせてくる。しばらくはこれらを愛でながらの通勤としたい。



Information

新研修委員会 メンバー紹介



市川ゆうゆう
作業療法士
高橋 秀明

今年度より研修委員に就任しました、介護老人保健施設市川ゆうゆう作業療法士の高橋秀明と申します。委員の中にリハビリテーション職は私だけということ、主に療法士向けの研修の企画を担当します。このような役目は初めてですが、精一杯務めさせていただきます。県内の療法士の方に限らず、知りたいことや、興味のあることを教えていただけると幸いです。

私の所属する市川ゆうゆうは市川市の北部に位置し、目の前が梨園で川にはカルガモが泳いでいるのどかな風景の中にあります。市川市から地域医療振興協会に経営移譲され1年が経過し、入所稼働率が90%を上回りました。入所では在宅復帰や看取りの強化に取り組んでおり、またデイケアを更に充実させるため、多職種で意見交換をしながら取り組んでいます。市川市近隣の地域に根差した施設となるように努力していきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願いたします。

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL. 048-257-2948

たのしいはな スマイル

明るく! 元気!
施設の笑顔をご紹介します!



■ うらら

ご利用される皆様に「納得」して頂けるケアと「満足」して頂けるサービスを提供するために、介護士を初め多職種が連携して業務に励んでおります。今後、さらなる少子高齢社会の課題に対しても、地域と密着し、皆が笑顔になれる施設運営を目指しております。

住 所：千葉市中央区千葉寺町188
電 話：043-261-3169
開設日：平成9年4月1日
入 所：108名
通 所：80名

利用者様のニーズに
応えられるよう、
可能性がある限りは
色々な事に「挑戦!」して
まいりたいと思います。



●うらら
通所リハビリ管理者代理 岡嶋



■ エスポワール松戸

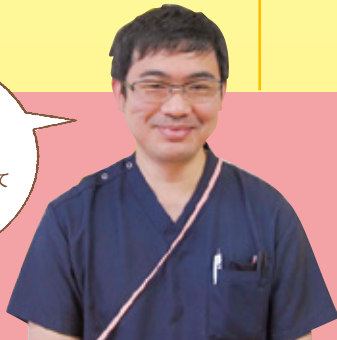
エスポワール松戸は真心のこもった介護で、家庭復帰のためのリハビリテーションと健康維持のお手伝いをいたします。

施設内にセラピューティック・タッチの施術者が2名在籍しており、入所者様やご家族様に無料でご利用いただき、喜ばれています。

住 所：松戸市五香西4-26-10
電 話：047-311-3166
開設日：平成24年3月1日
入 所：100名
通 所：30名



幅広い年代の職員が
活躍しています。
ご利用者様が笑顔で
過ごせるように、心をこめて
看護・介護いたします。



●エスポワール松戸
看護師長 堀井 和正



老健ちばカレンダー

5月 29日(月) ●老健施設における基礎研修会<千葉県教育会館>

6月 8日(木) ●レクリエーション研修会<ホテルポートプラザちば>

7月 ●ターミナル研修会 一日時場所は未定一

●編集後記

- 特集記事の作成をおえて、他施設の連携、協業状況等のお話を伺えて、良いアドバイスを頂ける思いです。この記事を見て頂いた協会会員様にもその思いが届くと良いな〜と願う今日この頃です@(^-^)(福田)
- しばらくの間、病気で職場をお休みしていました。まあ、歳には勝てない!ようやく仕事復帰しましたが、なかなか勤が戻らないです(;-;)…(神作)
- 年齢が40を越え検診で引っかかる項目が増えてきました。特定保健指導に行ったところ、見事「メタボ学校の入学資格を満たしています」と言われる始末。保健師さんからは「とりあえず半年かけて6キロ痩せましょう」と言われていますΣ(≡∇≡)(河野)
- 新しい年度がはじまりました。変化を楽しんでいるフレッシュマンが沢山いらっしやるのでしょうか。私も見習って張り切って過ごしやすい季節を楽しみます。今年度もよろしく願います(≧*)ノ(若林)

- 先日、娘の嫁ぎ先広島に行ってきました! 4歳と2歳のかわいい盛りの子と一緒に、桜満開の日本三景宮島を観光し、久しぶりにリフレッシュできました。新年度の始まり、心新たに頑張ります(^-^)(坂本)
- TVでクラムチャウダーの作り方をみて、今年は潮干狩りに行きたいと思いました。これから暖かくなってくるので、行動範囲も広がりそうですo(^-^)(佐々木)
- 広報委員のお仕事をやらせてもらっているおかげで、色々な施設へ行き、毎回「元気」を買ってきます。まだまだ、頑張らねば。今年度もヨロシクです!!(´o`) (斎藤)

